

きらっと★

令和3年 6月7日
宗像市立南郷小学校
養護教諭 吉永直美

コロナ禍における熱中症対策

6月に入り、気温が25°Cを超える日が多くなりました。この時期は、真夏のように30°Cを超えるような暑さではないため、熱中症に対する警戒が足りず、水分補給などの対策をとらず、気分が悪くなることがあります。

また、マスクを着用するため、暑さだけでなく不快感も増すと思いませんが、熱中症と感染症それぞれの対策をとりながら、子どもたちの健康を守ることをしっかり考えていきます。

スポーツドリンクを考える



熱中症にならないために、水分をとることは、もちろんですが塩分補給も大切です。そこで、南郷小学校では、熱中症対策として、スポーツドリンクの持参を認めることにしました。

スポーツドリンクについて、メリットとデメリットを知り、ご家庭でも、スポーツドリンクの持参について話をして下さい。

メリット

■水分だけでなく塩分も補える。



熱中症を予防できる。

デメリット

■糖分をとりすぎる。



- ・肥満につながる。
- ・むし歯になりやすくなる。

■糖分って、どれくらい含まれているの？
(500ml中)

商品A … 23.5g

商品B … 31.0g

商品C … 15.0g

商品によって、さまざまです。



スポーツドリンクと水筒の相性について

水筒によっては、スポーツドリンクを入れられないものがあります。また、水筒の内部の金属に傷があると、サビが発生したり、劣化が進んだりするそうです。お茶や水とちがって、塩分や糖分を含むため、水筒の衛生管理にも十分注意をして下さい。

その日の気温や学習内容に合わせて、持参するようにしましょう！

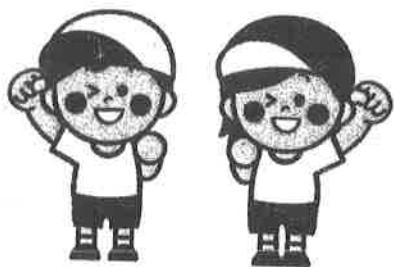
水分補給の基本は、
お茶や水



スポーツドリンクの持参は、
500ml以下



運動の前後等に
適量を



睡眠不足や朝食抜きは、熱中症のリスクを高めます。

まずは、規則正しい生活をして、熱中症になりにくい体をつくりましょう。



6月24日(木) 歯科検診

かばた歯科の先生が、子どもたちの歯の状態をみてくださいます。朝、9時から行いますので、朝食を食べた後、きれいに歯をみがいてから登校してください。